

## はじめに ▶



学校法人鶴学園  
理事長・総長 **鶴 衛**<sup>まもる</sup>

近代日本がスタートした明治時代、<sup>せいおう</sup>西欧社会に遅れを取っていた教育界に新しい動きが起きました。帝国大学（旧制の国立総合大学）の設立や各地に誕生した私立学校の数々です。こうした動きに呼応するかのよう、広島で私学を立ち上げた鶴学園の校祖・鶴虎太郎先生と鶴学園創立者・鶴襄先生の人生と教育を漫画で紹介します。

この2人の先生は私の祖父と父ですが、私学教育に命を懸けた大先輩でもあります。作画は、少年ジャンプなどで<sup>かつやく</sup>活躍された漫画家の南一平先生にお願いしました。物語は近未来の広島工業大学を舞台にしたので架空の人物が登場しますが、内容は伝記や史実に基づいています。多くの人にタイムトリップを楽しんでいただけたら幸いです。

## 鶴 虎太郎<sup>とらたろう</sup>

### 激動編(第1章～第3章)の主人公

理想とする教育を目指して広島に学校を設立し、教育者として情熱を注ぎました。その姿勢は「教育は愛なり」の言葉に集約されています。鶴学園の各校は「教育は愛なり」を建学の精神に<sup>かか</sup>掲げています。



## 鶴 襄<sup>のぼる</sup>

### 誕生編(第4章～第7章)の主人公

鶴虎太郎の四男で、父の死後に鶴学園を設立し、総合学園に育て上げました。襄が遺した「常に神と共に歩み社会に<sup>ほうし</sup>奉仕する」の言葉は、各校の教育方針となっています。

